

令和7年度

パピーナ西荻北保育園

すくわくプログラム

テーマ： ことば

活動 せんあそび（線あそび）

回る線を理解する

環境をデザインする

●準備した物 プリント、クレヨン

活動スケジュール

3歳児クラス

日にち	令和7年6月26日	
時 間	30	分
参加人数	15	人

探究活動を実践する

●活動内容

遠足の体験の話をする

回る線を描く

●子どもたちの様子

ピクニックに行ったことがあるか尋ねられると、川や公園でのさまざまな遊びを思い出しながら言葉にする姿が見られた。「花を摘む」プリントでは、「男の子から」「私は女の子から」など順番に意識を向けながら回る線を描こうとする様子や、「今度は動物さんを誘って」と新たな場面設定に応じて、異なる線を描こうとする姿があった。絵を見ながら「オニギリ」「ボール」「水筒」などピクニックの持ち物に気づき、「リュックはどこ？」「あった！」と同じものの同土を見つけ出し、まっすぐに線でつなごうとする様子も見られた。



●振り返りをふまえた気づき

担任より

ピクニックやお花摘みと言うのがイメージしやすかったようで、興味を持って意欲的に取り組んでいた。「うさぎさん忘れちゃった」と動物を通ることを忘れてしまったことに気が付き、自分で修正する児もいた。灰色や黄土色など、難しい色も講師の持つ色をよく見て同じものを選ぶことが出来ていた。

講師より

これまでの自分の経験と結びつけながら、ピクニックの場面や出来事を言葉で表そうとする姿が見られた。順番を意識したり、設定の変化に応じて回る線を描き分けたりする姿から、イメージをもとに表現しようとする力が育ってきていることが感じられた。絵を手がかりに、自分の経験を重ね合わせて持ち物を言葉にしたり、同じものを見つけて線で結ぼうとする姿は、目的をもって発言や手を動かす活動を楽しんでいる様子として受け取れた。

令和7年度

パピーナ西荻北保育園

すくわくプログラム

テーマ： ことば

活動 せんがき（線描き）

ジグザグを理解する

環境をデザインする

●準備した物 プリント、クーピー

活動スケジュール

4歳児クラス

日にち	令和7年6月26日
時 間	30 分
参加人数	15 人

探究活動を実践する

●活動内容

部屋の中で、同じような形を探す

ジグザグの線を見て特徴をみつけたり表現したりする

文字の道を見て特徴をみつけたり表現したりする

●子どもたちの様子

あ！いつものところがジグザグだ！」と、まっすぐの線との違いにすぐに気づき、声に出す姿が見られた。「階段」「雷」など、ジグザグの形に似たものを思い出して話す中で、「傘の閉じた形」に注目する姿もあった。ジグザグの特徴である「まっすぐ・止まる」という動き方を理解し、線の変化に注意しながら丁寧に取り組む姿があった。「の」や「め」の道では、線の形を「すべり台」などのイメージと重ねて捉える姿があり、道の流れを楽しみながら手を動かす姿が見られた。



●振り返りをふまえた気づき

担任より

ジグザグを書く際は、進んで止めての繰り返しを意識しながら書くことが出来ていた。ひらがなでは、はみださないように書くことを意識して書く児が増えて「綺麗に書けた！」「はみ出さなかったよ！」と嬉しそうに見せる姿があった。

講師より

身近な中からジグザグの形を連想し、特徴に気づこうとする姿が見られた。ジグザグの動き方についても、まっすぐ進んで止まることを意識しながら、手の動きを調整しようとする姿があった。「の」や「め」の道では、線の形に親しみをもちながら、自分なりのイメージを重ねて楽しんで取り組んでいた。線の流れを意識して、丁寧にコントロールする経験を通して動きをとらえて表す力が育まれていたように感じる。

令和7年度

パピーナ西荻北保育園

すくわくプログラム

テーマ： ことば

活動 ひらがな・線描き

螺旋を理解する

環境をデザインする

●準備した物 プリント、鉛筆

探究活動を実践する

●活動内容

文字の特徴と文字がつく言葉を話す

螺旋を描く

●子どもたちの様子

「ののつく言葉」を尋ねられると「海苔」「呪い」「ノンタン」など、多様な語彙を出し合う姿が見られた。文字の形に目を向け、「の」は「くるりんしてる」「宇宙人のところ（らせん描き）と似てる」など、自分なりに捉えようとする姿があった。実際に書き始めると、「くるりんが難しい」と集中するあまり姿勢が前のめりになる子もあり、「お背中ぴーん」の声かけで気づいて姿勢を整える場面もあった。「ら」と「ち」の2文字を、「似てる」「横の線がない」「上だけ違う」など、形の共通点と相違点に目を向けて比較する様子が見られた。



●振り返りをふまえた気づき

担任より

文字に興味のある児も多く、意欲的に線をなぞったり文字を書いたりする姿が見られた。時間をかけて丁寧に書く児もいれば、素早く書くが丁寧さに欠ける児もいた為、ゆっくりでいいから丁寧に書くように声を掛けた。

講師より

言葉をきっかけに文字への関心が高まり、語彙を広げながら楽しんで取り組む姿が見られた。文字の形に注目し、似ている点や違いに気づこうとする中で、線の動きや特徴を意識して書こうとする姿があった。集中するあまり姿勢が崩れる場面もあったが、自ら気づいて修正しようとする様子も見られた。文字の構造に注目しながら丁寧に書く経験を通して、形を観察する力や、書く際の体の使い方への意識が育ちつつあることを感じた。